

Magnolia 106 A/B

製品説明

Magnobond 106 A/Bは、軽量・高強度の発泡強化プラスチック製のオールやパドルの製造での使用を目的とした三液型軽量エポキシ系接着剤です。

特性

特性	Magnobond 106 A/B
硬化条件	300~325°F / 149~162.8°Cで15分
配合比 (重量) (A剤：B剤)	100:33
(体積) (A剤：B剤)	2.6:1
77°F / 25°Cでの可使用時間 (3オンス / 85g)	3時間以上
シェルライフ	A：75°F / 23.9°C以下で6か月 B：75°F / 23.9°C以下で6か月
比重	A剤：1.05 B剤：0.95 混合：1.00
粘度 (77°F / 25°C)	A剤：600 cps B剤：5,500 cps 混合：1,800 cps
SPI分類	A剤：4 B剤：4
引火点	A剤：200°F / 93.3°C以上 B剤：200°F / 93.3°C以上
100°F / 37.9°C以下の可燃性	A剤：なし B剤：なし
100~200°F / 93.3~37.9°Cでの可燃性	A剤：なし B剤：なし
腐食性	A剤：なし B剤：あり
貨物クラス	A剤：1 B剤：2

注記：希望の密度や粘度に達するまで、Magnobond 111-509 C剤を添加することをお勧めします。

本紙に掲載されている情報は、当社が独自に行った研究によって得られたデータに基づいており、正確を期すよう努めておりますが、本データの使用によりもたらされる結果、あるいは本データの使用がいかなる特許も侵害しないことに関して、明示的または暗示的なものも含めて一切保証いたしません。本紙に掲載されている情報は、その情報の提供を受ける者が独自に試験を実施して特定の用途への適合性を判断するという条件で提供されるものとします。

Copyright © 2018, Magnolia Advanced Materials, Inc. All Rights Reserved いかなる形式によっても本紙の一部または全部を複製することを禁じます。Magnobond™及び定型化されたMagnoliaのロゴは、Magnolia Advanced Materials, Incの登録商標です。

Magnobond 106 Rev.2 6/15/2018

<お問い合わせ>



極東貿易株式会社

新素材部機能資材課

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1

TEL.03-3244-3846

E-mail: amd.hp01@kbk.co.jp

URL: <http://www.kbk.co.jp/>

